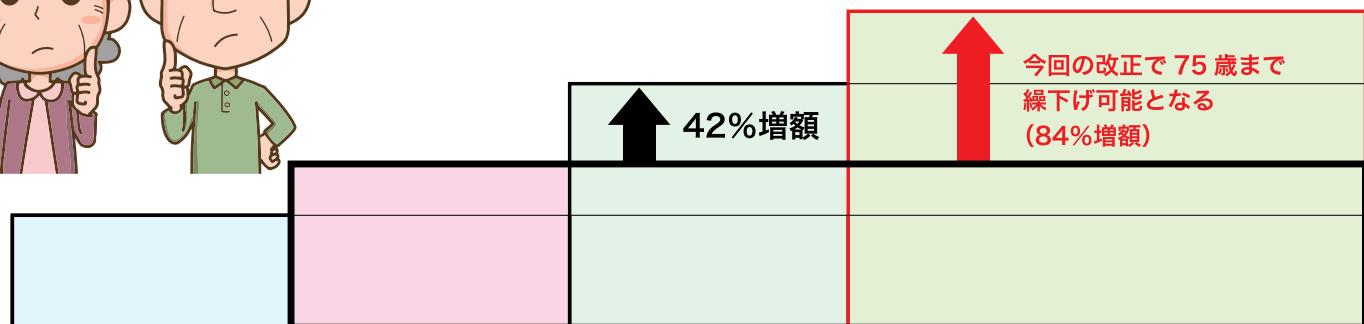
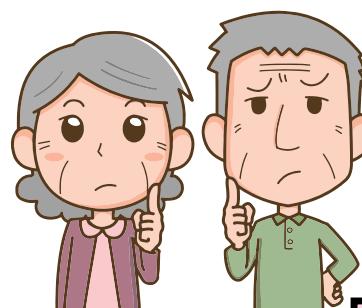


# 年金制度改正法が成立したのをご存知ですか？

今回の改正で受給開始時期を選べるようになりました。



高齢者の労働拡大等を踏まえ、高齢者が自身の就労状況等に合わせて年金受給の方法を選択できるよう、繰下げ制度について、より柔軟で使いやすいものとするための見直しを行います。現行制度では、60歳から70歳まで自分で選択可能となっている年金受給開始時期について、その上限を75歳に引き上げます。繰下げ増額率は1月あたり、プラス0.7%（最大プラス84%）となります。この制度改正は、令和4年4月から適用され、令和4年4月1日以降に70歳に到達する方（昭和27年4月2日以降に生まれた方）が対象です。なお、現在65歳からとなっている年金支給開始年齢の引上げは行いません。



60歳 65歳 70歳 75歳 平均的な死亡年齢

65歳からとなっている年金支給開始年齢の引上げは行わない。

※世代としての平均的な給付総額を示しており、個人によっては受給期間が平均よりも短い人、長い人が存在する。

（参考）繰上げ・繰下げによる減額・増額率

減額率・増額率は請求時点（月単位）に応じて計算される。

・繰上げ減額率 =  $0.5\% \times \text{繰り上げた月数}$  (60歳～64歳)

※繰上げ減額率は令和4年4月1日以降、60歳に到達する方を対象として、1月あたり0.4%に改正予定。

・繰上げ減額率 =  $0.7\% \times \text{繰り上げた月数}$  (66歳～75歳)

請求時の年齢	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳
減額・増額率 (改正後)	70% (76%)	76% (80.8%)	82% (85.6%)	88% (90.4%)	94% (95.2%)	100%	108.4%	116.8%

請求時の年齢	68歳	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳
減額・増額率 (改正後)	125.2%	133.6%	142%	150.4%	158.8%	167.2%	175.6%	184%

通常の受取開始年齢（65歳）から受け取った場合と比較すると70歳受取開始の場合81歳、75歳受取開始の場合86歳で上回ります。

※ただ年金を含む収入の増額に伴い税金や社会保険料が増えるため手取り収入は上記の年齢と異なる場合があります。

損保トピック

# サイバー攻撃への備えは 大丈夫ですか？



## 1.企業だけでなく個人パソコンも狙われています。

サイバー攻撃はセキュリティ対策が強固な大企業ではなく、大企業と取引がありセキュリティ対策が弱いと思われる中小企業や社員の個人パソコンを狙います。中小企業や個人のパソコンのセキュリティを突破し、大企業とのメールなどを経由して大企業のシステム内部に侵入するような攻撃のことを「踏み台攻撃」といいます。取引先企業へのサイバー攻撃の踏み台として自社が利用されたとわかれば、その企業との取引は停止となるかもしれません。狙われるようなデータはない、と安易に考えず、中小企業であってもセキュリティ対策の必要性を認識して、適切な対策をとる必要があります。

## 2.サイバー攻撃を受けた場合、 多額の費用がかかります。

サイバー攻撃への初動対応および事故対応には、右記のとおり多額のコストが発生します。

※フォレンジックとはサイバー攻撃を受けた可能性がある場合、パソコンに残されたデータを収集し、原因や感染範囲を調査するために実施します。専用のツールや技術が必要なため、専門業者に委託することが多く、この費用は、パソコン一台あたり、100万円近くかかると言われています。

### 会社概要

年間売上高：2億円  
従業員：30名

### 事故内容

工場の生産ラインを管理するパソコンがランサムウエアに感染。

### 想定される被害・影響

- 生産停止：48時間
- 逸失利益：340万円
- 調査・復旧費用：300万円  
(フォレンジック※を行った場合)
- 納品遅れによる信用の低下

合計640万円

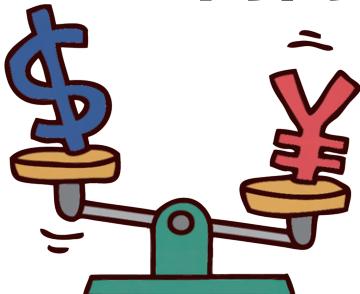
### 対応の流れ(例)



私たちは、いつサイバー攻撃を受けるか分かりません。弊社はサイバー攻撃を受けた場合の保険も取り扱っていますので、お気軽にご相談ください。

生保トピック

# 円高・円安はどちらがおトク？



最近「1ドル130円」とか「円安」という言葉をよく耳にされると思います。

みなさんが円を外貨に交換する時と言ったら、海外旅行を思いつくでしょうか。その際に、外貨と円を交換するときの基準になるのが「為替レート」です。銀行や空港の両替所などに行くと『1米ドル=100円』のように日本円と外貨を交換する時の為替レートが提示されています。

円と交換する通貨はシーソーのような関係で、どちらかの通貨が高くなればもう一方の通貨は下がるということになります。

海外旅行やショッピングにお得なのは円高です。たとえば、10万円のお小遣いを持って海外旅行を行った場合、為替レートが1米ドル100円のとき、お小遣いは1000米ドルです。1米ドル90円と10円円高となれば、お小遣いは1,111米ドルで111米ドルも多くなります。逆に1米ドル110円と10円円安となれば、お小遣いは909米ドルで91米ドルも少なくなります。日本は食料品をはじめ多くの物を輸入に頼っている為、円高であれば輸入品の価格が下がり、エネルギー資源の価格も下がり、国内の物価が全体的に下がり、恩恵を受けることとなります。逆に円安になれば輸入品の価格が上がり、エネルギー資源の価格も上がり、国内の物価が全体的に上がりインフレリスクが高まり、家計に大きく影響を与えます。

今までのところでは円高の方がお得と感じられる方が多いと思いますが、一方では企業活動においては輸出企業の場合は円安であれば売上が増加し、生産増加にともなって雇用環境の改善が期待出来るようになります。また、外貨建金融商品にご加入の方は円安になった時に収益が増加することになります。という事で円高と円安には一長一短があります。

インフレリスクに対応する方法であったり、資産運用についてのご相談も承れます。ご興味のある方は弊社担当者までお申し付けください。



見直してください あなたの暮らしの保障

**浜本保険株式会社**

- 本社／兵庫県加西市北条町横尾313-1 A-NOVA SANWA BLDG 1F  
TEL.0790(42)1223㈹ FAX.0790(43)1205
- 高砂営業部／兵庫県高砂市荒井町御旅2丁目1番1号  
TEL.079(442)3515㈹ FAX.079(442)3054
- HAMAMOTO CONSULTING OFFICE  
兵庫県姫路市北条梅原町119北条梅原350ビル  
TEL.079(225)5551㈹ ㈹ 0120(920)903

